

# 地域コミュニティって なんじゃらほい?!



筑紫野市では、共助社会づくりに向けて、地域コミュニティによるまちづくりを推進しています。

今回は、御笠まちづくり協議会の取り組みについて紹介します。

## 未来を照らす、祈りのともしび 3・11自然災害犠牲者追悼式

### 子どもたちの灯ろうを 展示しています

地元の吉木小学校と阿志岐小学校6年生の子どもたちが作った約160個の灯ろうは、「笑顔」「未来」「希望」「つながり」など、自然災害だけではなく、コロナ禍の今への願いも込められた、未来を照らす希望の言葉にあふれています。

子どもたちの思いが込められた色鮮やかな灯ろうは、4月末まで御笠コミュニティセンターに展示しています。



3月11日(木)、御笠コミュニティセンターで、自然災害犠牲者追悼式が行われました。  
この行事は平成24年から毎年行っているものです。今年は感染症拡大防止のため、参加者を限定し、御笠まちづくり協議会の関係者約30人が集い、震災で犠牲となった方々へ哀悼の意を表して黙とうを捧げました。  
会場は、復興への祈りを込めて作られた灯ろうの優しい光に包まれました。

「住みやすい住みつけたい明るい御笠のまちづくり」を指して「やれることからやっついこう」精神の中で安全安心部会が計画・実行しました。  
子どもたちの願いが込められた灯ろうを見ながら、改めて「たくさんの人の幸せ」を祈るとともに一日も早い被災地の復興を願っています。



御笠まちづくり協議会  
八尋 雄二会長